

# 活動実績報告書

令和 元年 11月 25日

登録番号 20190812

氏 名 後藤 善史

## 1 活動状況

平成

27年 4月 ~

平成

29年 3月

令和

令和

### ・ 活動の概要

国有林材の安定供給体制の構築を目指すにあたり、素材生産・販売業務に従事する中で、まず素材生産業務において肝要となる効率的な路網整備を推進していくため、施行団地の集約化を行い、それを基にした林業専用道の新設・修繕計画の作成にあたった。また、民有林所有者との共同施行団地においては林道等の相互利用により素材生産業務の円滑化を図った。

また、素材販売業務においては、国有林材の販売にあたり、品質管理を徹底するため、素材生産業者、製材工場、木材市場、森林管理署職員、共同施行団地の協定者等を招集し、素材生産現場や販売先となる土場においての採材検討会等を実施した。

### ・ 当該活動を挙げた理由

森林総合監理士の役割の一つとして「国産材利用による「森林と木材利用のサイクル」の維持に貢献する」ことが挙げられ、低炭素循環型社会の形成の推進、国産材利用推進による山元への収益還元により地域の林業・木材産業の活性化に寄与することとなるため。

### ・ 当該活動における、立場と役割

公正・中立な立場となるよう心掛けながら、関係者間の調整を図り、企画・立案・運営に携わってきた。

### ・ 活動上発生した問題点と課題及びそれへの具体的対応策

路網整備においては、限られた予算というのが最大の問題点ではあるが、最大限に有効利用することが唯一の対応策であるため、関係者間の綿密な調整が必要であった。

素材販売においては採材検討会での意見交換において双方の主張を尊重しながら調整を図り、最善となる方向性について協議した。

### ・ 活動による成果で残された課題及び今後の改善方策

事業地の奥山化がすすんでおり、それによる生産コストの増加が懸念されている。改善方法としては更なる精度の高い、効率的な路網整備を推進していく事が重要であると考えられる。

注1:1. 活動状況については、直近の過去5年間に、森林総合監理士としての活動に関連していると考えられる、又は森林総合監理士として取り組んだ具体的な活動内容を記載してください。

## 2. 研修の受講状況

研修名 平成28年度森林作業道(路網連携)研修  
(実施主体) 林業機械化センター

平成  
28年 10月  
令和

研修名  
(実施主体)

平成  
年 月  
令和

研修名  
(実施主体)

平成  
年 月  
令和

## 3. その他の自己の能力・維持向上のための活動状況

平成29年度～令和元年度(各年1回)

- ・森林の収穫研修  
研修講師として、企画・立案・運営・講義を行う。
- ・森林資源循環利用実務研修  
研修講師として、講義・運営に携わる。

注2: 2. 研修の受講状況、及び3. その他の自己の能力・維持向上のための活動状況については、直近の過去5年間に取り組んだ具体的な内容と時期を記載してください。

注3: 活動実績報告書は、A4で全2枚としてください。

注4: この活動実績報告書は、このままPDF化して林野庁ホームページに掲載しますので、見やすさ・読みやすさ、個人の特定等、公開に差し障りのある表現にもご配慮ください。